

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
認定農業者（家）数	経営体	296	298	293	291	286	320	1	新規認定の掘り起こしは進んでいるが、高齢化により所得要件を満たさなくなった、或いは離農者数が新規認定者数より大きく上回っているため、減少傾向になっている。
新規就農者数	人/年	12	3	2	4	2	7	1	就農相談件数は年々増加しているが、新規就農（独立・自営）を希望する者より、農業法人等での雇用就農を希望する者が増加傾向にあるため。さらにコロナ禍にあり就農時期を先延ばしする方が増えていることが要因となっている。
道の駅来場者数	千人/年	624	631	676	728	400	800	3	実績値は開館当初から着実な伸びを推移している。（R02はコロナウイルス感染症の感染拡大による影響）
道の駅売上額	百万円/年	614	520	562	587	322	600	3	実績値は開館当初から着実な伸びを推移している。（R02はコロナウイルス感染症の感染拡大による影響）
6次産業化の取組事例数	件	1	6	10	5	1	10	3	比較的若い年齢層の関心度は高いが、農業生産自体の経営の安定化が優先されるため、継続的な取り組みにまで及ばない状況である。
農家民泊受入農家数	軒	22	21	18	18	18	30	1	受入数が増加しない理由として、高齢化により受入実践者が減少していることが挙げられる他、専業農家は農業経営に専念する意向が高く、兼業農家に関しては、主収入業と受入との時間的両立を図りづらく、農泊に対する関心を見出せないことによるものと考えられる。

第5次えびの市総合計画 振返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
肉用牛の粗生産額	千円/年	12,830,947	12,219,374	12,729,478	13,902,104	12,415,000	14,000,000	1	生産物の価格は相場に左右されるが、生産量は年々増加している。
酪農の粗生産額	千円/年	535,792	509,519	534,387	503,417	497,000	466,700	1	生産物の価格は相場に左右されるが、生産量は年々増加している。
中小家畜（豚・鶏）の粗生産額	千円/年	7,169,853	7,186,115	7,890,983	8,067,405	8,193,000	7,100,000	1	生産物の価格は相場に左右されるが、生産量は年々増加している。

第5次えびの市総合計画 振返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
間伐実施面積	ha/年	144	169	106	69	49	90	1	新型コロナウイルス感染症の影響で木材需要が減少し、木材利用可能な搬出間伐が実施されなかったため。
森林ボランティア活動人数	人/年	208	184	191	116	98	250	1	下草刈や間伐などの活動イベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため。
林道など路網の開設延長	m/年	4,872	3,611	3,300	1,970	1,756	2,000	1	概ね計画どおり実施できた。
植栽の推進	ha/年	8	3	6	10	14	16	1	概ね計画どおり実施できた。
新規林業就業者数	人	1	1	1	1	3	10	1	地域おこし協力隊員として1名が3年間の研修を終え研修先に就職、新規に2名が研修中である。目標に向け市HPなどで1名募集を周知しているが応募者が無い状況である。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
商工会会員数	名	595	599	584	595	612	600	1,2	商工会が新型コロナウイルス感染症の影響による諸制度の申請窓口となったため、特に令和2年度について増加することとなった。
中小企業融資貸付金実行件数	件	21	14	21	17	10	70	1,2	平成30年度に商工業者の要望により運用改善の要綱改正を行い、実行件数が増加するものと見込んだが、結果として実行件数は21件を上限に増加しない状況であったが、特に令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策としての融資制度が創設されたため、実行件数が減少した。コロナ対策に特化した融資制度が設けられたことや、短期融資から長期融資へとニーズの変化もあり、現在の目標値を達成することは困難である。
物産振興イベント参加業者数（延べ）	事業者	35	32	40	51	7	100	3	東京都、大阪府、福岡県の都市部や阿久根市など近隣においてもイベント参加を積極的に行っており参加業者数も増加していたが、令和2年度に関しては新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止が相次ぎ、大幅な減少となっている。 市内イベント等が減少していること、高齢化等を要因とした脱退や廃業により、平成24年度は会員数が20事業者であったが令和2年度では15事業者に減少しており、現会員も高齢化が進みイベントに参加できない事業者も複数あり、目標を達成が困難な状況にある。
創業数	件	2	11	14	11	10	10	5	平成29年度に起業支援センターが設立され、インキュベーションマネージャー配置により起業に関する伴走型支援が可能となったため創業数が増加した。
空き施設利用件数	件	2	1	7	5	4	5	2	平成29年度に起業支援センターが設立され、起業家からの空き施設利用の相談件数が増加しており、結果として空き施設利用が増加している。

事業承継 個別相談件数	件	0	2	4	20	1	15
制度融資 利用件数	件	44	14	29	32	4	26

2
1

<p>平成29年度に起業支援センターが設立され、起業相談のみならず、市内の事業者からの各種相談にも対応している。事業承継の相談にも応じている</p> <p>特に令和2年度については、相談件数が1件であり、コロナ禍において事業の先行きが見通せない中での事業承継にむけての事業者の動きが低調になっているものと分析している。</p>
<p>平成28年度の44件を上限に減少傾向にあったが、特に令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策としての融資制度が創設されたため、実行件数が減少した。</p>

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
企業立地件数	社	9	1	3	4	5	10	1	企業からの立地相談は受けているものの、最終的な立地に至っていない状況である。立地が進まない要因としては、新型コロナウイルスの影響による投資抑制や雇用確保に対する不安などがある。
企業立地に関しての出張・企業訪問・相談数	回/年	145	169	120	152	100	130	1	新型コロナウイルス感染症の影響により企業訪問などの活動が制限されているため、今年度の目標達成は難しい状況である。
異業種交流会開催回数	回/年	2	2	2	2	0	2	1	例年、市主催の異業種交流会及び西諸市町主催のにしろ産学官交流会を実施している。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
立地企業による新規雇用者数	人	15	5	15	25	46	250	1	新規雇用者数が伸びていない要因として、立地件数が目標値に達していないこと、立地した企業が比較的小規模であったことが挙げられる。
就職説明会参加者数	人/年	27	22	16	12	10	40	1	年1回、県主催の就職説明会に参加しているが参加者数が減少傾向にある。対象者が大卒予定者及びUIJターン求職者となっており市内からの参加者が少ない。
市内高校新卒者の就職人数	人/年	1	4	5	8	8	10	1	地元高校の積極的な新卒者支援により市内企業への就職者も増加している。
UIJターン者が就労しやすいまちだと思ふ市民の割合	%	4.6	6.9	5.0	4.8	8.3	30.0	1	令和元年度の無料職業紹介所の実績をみると、求人数1041件に対し求職数314件であり、一定の求人数は確保されているものの、UIJターン求職者側の希望する賃金等の労働条件にマッチングできる求人情報が限られている。特に賃金面では都市部との格差があり、UIJターン求職者の希望に沿えないケースがある。

第5次えびの市総合計画 振返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
スポーツ合宿の補助団体数	団体/年	82	74	56	63	21	100	1,3	スポーツ合宿の宿泊費助成について、少人数の合宿にも対象を拡大するため、「民泊を助成対象に追加」、「延べ宿泊数20泊未満の制限撤廃」をしたが、コロナ禍による影響が大きく、スポーツ合宿の補助団体数は未達成となった。県内自治体と同じような助成制度を実施している中で、団体における部員数減少や、助成額が低額であることなども要因として考えられる。
道の駅来場者数（再掲）	千人/年	624	631	676	728	400	800	3	実績値は開館当初から着実な伸びを推移している。（R02はコロナウイルス感染症の感染拡大による影響）
特定地域への入込客数 （えびの高原・京町温泉・白鳥温泉）	人/年	1,002,090	898,818	784,733	908,204	600,000	1,300,000	1,2,3,4,5	霧島山火山活動の活発化により減少していた入込客数は回復の傾向にあったものの、令和2年1月以降のコロナ禍の影響が大きく、目標値には大きく及ばなかった。
地域の観光資源を生かしていると思う市民の割合	%	7.6	9.8	13.3	10.5	14.7	30.0	1,2,3,4,5	市民アンケートの自由記述でも、地域に点在している豊かな自然などの観光資源について、PR不足であったり、面的に活用できていないことを指摘されている。 また、観光施設の老朽化や、滞在型体験観光の造成に繋がっていないことも要因として考えられる。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
地籍調査進捗率	%	57.8	54.2	55.3	55.7	57.2	60	1	令和元年度は飯野街部の現地調査を実施したことにより、調査筆数が多かったため調査面積は減少したが、令和2年度に山林部の現地調査により調査面積が増加したことにより、より進捗が図られるもの。

第5次えびの市総合計画 振返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
過疎対策事業進捗率	%	66.0%	4.8%	21.0%	65.1%	69.09%	80.0%	2	対象路線において、用地交渉に時間を要したこと等により、目標を達成することができなかったものと考えられる。
国道・県道・市道は利用しやすいと思う市民の割合	%	47.6%	56.7%	57.7%	58.9%	62.9	60.0%	1	交通量の多い市道宮崎水俣線や栗下上江線や県道等の改良が進んだことが、目標達成に繋がったものと思われる。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
マイナンバーカード交付率	%	10	11.7	13.4	17.3	32.0	40.0	1	コンビニ交付サービス開始など利用環境の整備によりマイナンバーカード交付枚数は増えてきている。引き続き利用基盤の整備を進める必要がある。
マイナンバーカードを利用したサービス数	本	1	1	3	3	3	3	1	当初見込んでいたオンラインサービスを実施することができたが

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
防衛省等への要望活動回数	回/年	4	4	4	4	1	4	2	新型コロナウイルス感染症の状況により、検討が必要。
市民参加型の自衛隊との交流事業	回/年	3	4	4	3	0	4	1	天候により実施ができない場合もある。 また、新型コロナウイルス感染症の状況により、検討が必要。